

車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

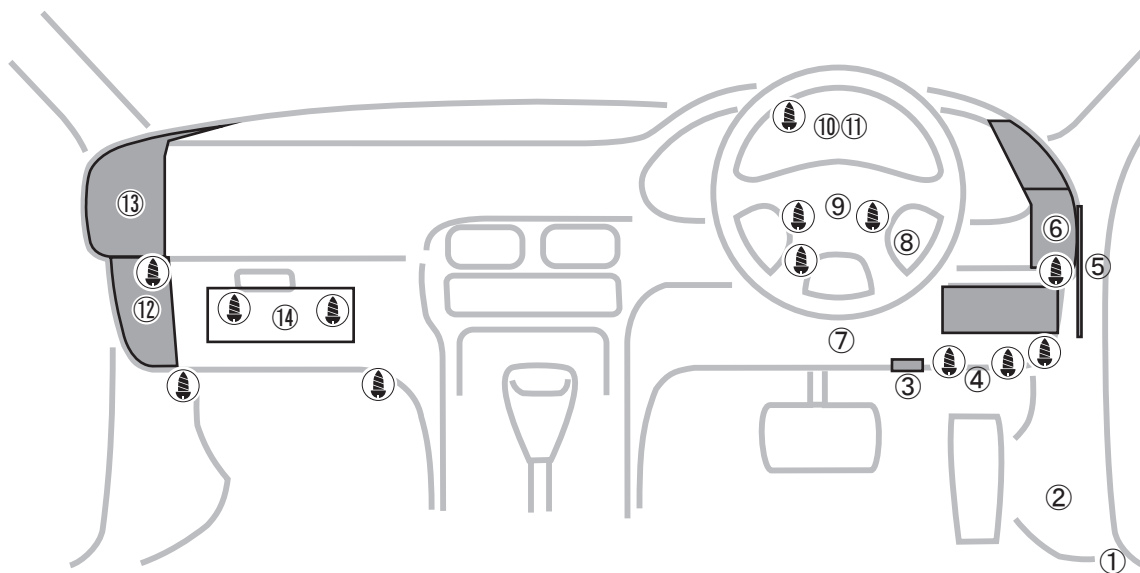
BOX No. 112421

車両情報	日産 AD・ADエキスパート	平成18年12月～平成28年12月	Y12系	1/3ページ	ES-89 Light	Type	N.L.
	NV150 AD	平成28年12月～令和3年5月	Y12系			Opt.	ドアロックリレーNLⅢ(EPO70)
	マツダ ファミリアバン	平成19年1月～平成30年6月	Y12系				

① イモビライザー（インテリジェントキー）無し車のみ

◎カバー類の取り外しは、必ずこのページの手順のとおりに行ってください。

① 各配線の取り付けについては、2/3～3/3ページをご覧ください。



① カバー類の取り外し方（運転席側）

※専用ハーネスの取り付け作業（必須）を行うためには、下記の部品を順番に外してください。

- ① 右サイドステップカバーを、上に引っ張り外す。
- ② 右サイドカバーを手前に引っ張り外す。
- ③ 診断カプラーのカバー（カプラー固定）を外す。…アンダーカバーの診断カプラーカバーの穴をくぐらせて、カプラーを外す。
- ④ ボンネット／フューエルリリースレバーを外す。…ボルト2本。
- ⑤ ロアカバー右側のパネルを引っ張って外す。
- ⑥ ダクトカバーのパネルを少し浮かせて、ネジ1本を外す。
- ⑦ ロアカバーを手前に引っ張って外す。…ネジ1本。
- ⑧ キーシリンダの周辺のカバーを引っ張って外す。
- ⑨ 上・下コラムカバーを外す。…下側からネジ3本。

① カバー類の取り外し方（メーター）

※メーターへの接続作業を行うためには、下記の部品を順番に外してください。

- ⑩ メーターカバーを手前に引っ張って外す。
- ⑪ メーターを外す。…正面ネジ1本。

① カバー類の取り外し方（助手席側）

※グローブBOX裏への接続作業を行うためには、下記の部品を順番に外してください。

- ⑫ グローブBOX左のパネルを手前に引っ張って外し、ネジ1本を外す。
- ⑬ ダクトカバーのパネルを少し浮かせる。
- ⑭ グローブBOX下のネジ2本とグローブBOX内のネジ2本を外し、グローブBOXを手前に引っ張って外す。

止めネジ等



車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

BOX No. 112421

車両情報	日産	AD・ADエキスパート	平成18年12月～平成28年12月	Y12系	2/3ページ	ES-89 Light	Type	N.L.
		NV150 AD	平成28年12月～令和3年5月	Y12系			Opt.	ドアロックリレーNLⅢ(EPO70)
	マツダ	ファミリアバン	平成19年1月～平成30年6月	Y12系	ⓘ イモビライザー(インテリジェントキー)無し車のみ			

❗ 注意事項

- 取り付ける車両により、専用ハーネスが異なります。
AT車は、専用ハーネス品番：VN108
CVT車は、専用ハーネス品番：VN109Pになります。
(別紙を参照してください。)

❗ CVT車について

- 専用ハーネス、VN109Pで取り付ける場合は、必ずCN2のPポジション(青)の配線を行い、フットブレーキを使用してオートマチック車の認識設定を行ってください。

❗ CVT車

- Pポジション配線して、フットブレーキで行う。

❗ AT車

オートマチック車認識設定

配線・受信機の取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ①車両のイグニッションをONにする。
- ②リモコンでSTOPを押す。
- ③車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
- ④車両のイグニッションをOFFにする。
- ⑤設定完了

※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2線色)

車両配線色

オートマチック車認識設定

配線・受信機の取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ①車両のイグニッションをONにする。
- ②リモコンでSTOPを押す。
- ③車両のA/TシフトレバーをRレンジに動かし、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)Pレンジに戻す。
- ④車両のイグニッションをOFFにする。
- ⑤設定完了

※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジン

配線内容(受信機CN2線色)

車両配線色

❗ CVT車
コラムカバー内左下側
キーシリンダー直付け

専用ハーネス
VN109P

❗ AT車
コラムカバー内左下側
キーシリンダー直付け

専用ハーネス
VN108

❗ 注意…専用ハーネスの取り付け手順

- コラムカバー内のスペースが非常に狭いため、専用ハーネスを取り付ける際は、以下に示した手順にて作業を行ってください。
手順どおりに行わない場合、専用ハーネスが収まらずコラムカバーが復元できない(止まらない)ことがあります。

- ①キーシリンダーから6Pカプラを外し、コラム上側から右側への車両ハーネス束を外して(できるだけテーピングを外して)、6Pカプラのハーネスをコラム上側からコラム右側に引き出す。
- ②外した上側から右側への車両ハーネスは、ビニールテープでテーピング処理をして、元通りに固定(復元)する。
- ③キーシリンダー上あたりで、専用ハーネス(6Pカプラ)を割り込み接続する。
- ④専用ハーネスのケーブル・中継カプラ・リレーは、コラム右側から奥に引き返し、コラムカバー(下側)が復元できるように処理をする。
※車両の金属エッジに注意して固定してください。

❗ CVT車は必ず接続

フットブレーキ右上側
4P白色カプラ



Pポジション(青)
黄

- ❗ Pポジションは、必ず配線してください。(接続先の電圧は、通常時0Vで、フットブレーキを踏んだとき12V)

車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⒻ表示です。

BOX No. 112421

車両情報

日産 AD・ADエキスパート 平成18年12月～平成28年12月 Y12系
NV150 AD 平成28年12月～令和3年5月 Y12系
マツダ ファミリアバン 平成19年1月～平成30年6月 Y12系

3/3ページ ES-89 Light

Type N.L.

Opt. ドアロックリレーN.LⅢ(EPO70)

❗ イモビライザー(インテリジェントキー)無し車のみ

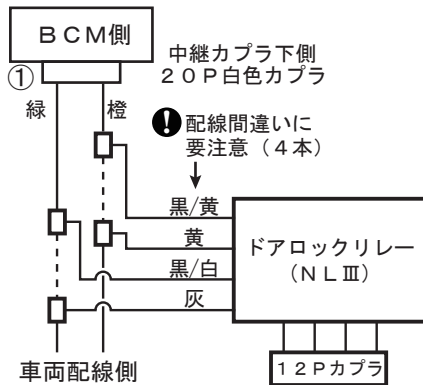
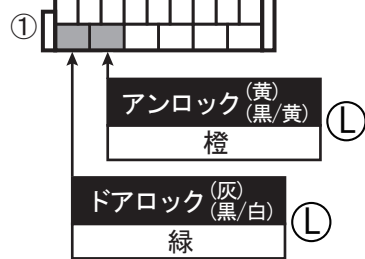
❗ 特有の注意事項(使用できない機能等について)

❶ オートロック機能は、使用できません。…機能が作動しないため。

❶ (ドアロック・アンロック)

❗ ドアロックリレーN.LⅢが必要です。

グローブBOX外した
左側のC/U(BCM)
15P黒色カプラ



-----部は車両配線をカットする
Light CN2へ

足踏み式
Pブレーキスイッチ
1P黒色カプラ



C/U(BCM)

グローブBOXを外した
左側のC/U(BCM)
15P白色カプラ



❗ バックドアの開閉検出を行う場合に配線する。別売りのドア検出ユニット(商品コード: EPO30)が必要です。

メーター裏
40P白色カプラ



コラム内下側
黄色カプラの右側
8P灰色カプラ



❗ 機能付き機種のみ配線

❗ AT車

❗ CVT車

❗ Pポジション配線して、フットブレーキで行う。

オートマチック車認識設定

配線・受信機の取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
 - ② リモコンでSTOPを押す。
 - ③ 車両のA/TシフトレバーをRレンジに動かし、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)Pレンジに戻す。
 - ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
 - ⑤ 設定完了
- ※ 設定作業をしないとエンジンスターターでエンジン

配線内容(受信機CN2線色)
車両配線色

オートマチック車認識設定

配線・受信機の取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
 - ② リモコンでSTOPを押す。
 - ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
 - ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
 - ⑤ 設定完了
- ※ 設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2線色)
車両配線色

車種別専用ハーネスについて

VN109P 共通追補版

令和 3年 5月26日

日産のCVT車（1500ccの2WD車）に取り付け時の注意事項

専用ハーネス

VN109P

■ CVT車（1500cc：HR15DEエンジンの2WD車）に取り付けする場合

※初年度登録が2006年（平成18年）12月以降で、以下の車両型式－車体番号の車両が該当します。

NOTE（ノート）	E11-210001～
ウィングロード	Y12-050001～
キューブ	YZ11-047001～
キューブ キュービック	YGZ11-121001～
ティーダ	C11-140001～
ティーダ ラティオ	SC11-097001～
AD・ADエキスパート	VY12-154001～

①専用ハーネスは、必ずVN109Pを使用してください。

❗ VN108（CVT車以外の専用ハーネス）で取り付けをしても、エンジンスターターでエンジンが始動しません。

②エンジンスターターは、下記のモデルのみ、取り付けることができます。

- ES-89ProLightのシリアルNo.R0013401以降の製品
- ES-89CuteのシリアルNo.H0057301以降の製品
- ES-89PicoのシリアルNo.G0131001以降の製品及び、シリアルNo.BCから始まる製品
- ES-89ProLight II
- ES-89DualPico
- Pico950 II
- Pico950

❗ 上記以外のモデルで誤って取り付けされると、車両のエンジンチェックランプ警告灯が点灯したまま消えなくなる、走行時にアクセルを踏み込んでもエンジンの回転が上がらなくなる等、車両側のトラブルが起こる場合があるため取り付けはできません。

専用ハーネス

VN108

■ 上記のCVT車（1500cc：HR15DEエンジンの2WD車）以外に取り付けする場合

①専用ハーネスは、必ずVN108を使用してください。

❗ VN109P（CVT車専用ハーネス）でも取り付けは可能ですが、Pポジションの配線が必要になり、専用ハーネスの価格も割高になります。

②エンジンスターターは、全ての製品を取り付けることができます。

日産のCVT車（1500ccの2WD車）に取り付け時の注意事項

上記のCVT車（該当車両）は、燃費改善のために車両側のエンジンコントロールシステムが変更されています。

❗ 必ず、上記で指定した条件（専用ハーネスと取り付けするエンジンスターターのモデル）を守って、取り付けを行ってください。

❗ 万が一、指定以外の条件で取り付けされた場合、エンジンスターターによる始動不具合、または車両側のトラブル・故障等については、一切その責任を負いませんのでご了承ください。